

資産運用レポート：元本利回り

1 はじめに

10倍株（テンバガー）ハンターとして、その道で知られている個人投資家、愛鷹さんの著書『サラリーマン投資家が10倍株で2.5億円』は長期投資のヒントが満載されている良書です。

出版社としては「10倍株」を前面に押し出し、売りたいようですけど、著者がいちばん言いたいことは別のような気がしました。その部分を「あとがき」より引用します。

配当利回りは通常、現在の株価に対する利回り（表面利回り）で論じられることがほとんどです。でも、インカムゲイン狙いの長期投資家としては、大幅増配でもされない限りは、現在の配当利回りを見る意味はありません。配当金は表面利回りでなく、元本利回りを見るべきなのです。

同感です。不動産投資に対する株式投資の優位性は「築年数経るにつれて家賃を下げざるを得ず運営コストもかさむ収益物件に対して、良い会社は毎年のように配当金を増やし続ける」に尽きます。

一例をあげると、毎年10%のペースで増配する会社を持ち続ければ、配当金は5年で1.6倍、10年で2.6倍、15年で4.2倍、20年で6.7倍に増えます。たとえ現在の株価に対する利回り（表面利回り）が3%に過ぎなくても、元本利回り（投資元本に対する利回り）は10年後に7.8%、20年後に20.1%まで上昇します。

持株にこのような銘柄がいくつか含まれておれば、日々の株価変動を気にすることもなく、配当金で悠々自適の生活を送れるのではないのでしょうか。今回の資産運用レポートでは元本利回りを取り上げます。

★サラリーマン投資家が10倍株で2.5億円



長期投資家なら読んでおきたい一冊です。